

「働き方改革」の理解を深めるための4つの論点

論点1: 自己紹介(10分)

みなさん簡単に自己紹介をしてください。

- ・お名前、職業など
- ・今回のテーマ「働き方改革」に興味を持ったか？またそれはなぜか？

論点2: 働き方改革について(20分)

安倍首相が「働き方改革は安倍内閣の最大のチャレンジだ」と述べているように、働き方改革が重要な政策テーマとなり、社会の関心も高まっています。

参加者の皆さん自身、または周りで、働き方改革の影響を感じることはありますか。自身の主観を踏まえて、「働き方改革」による変化について話し合ってください。

論点3: 働き方改革を妨げる要因は何か？(20分)

課題図書の中では、働き方改革へを妨げている課題の例として、

- ・ 人口ボーナス期における長時間労働の成功体験
- ・ 企業・役所文化として業務を「変えないこと」という思考に囚われること
- ・ 業務の特殊性(警察等)
- ・ 「期間あたり生産性」による評価制度

が挙げられています。これまで働き方改革が進んでこなかった理由について話し合ってください。

論点4: 自分なりの働き方の提案(20分)

昨今、「働き方改革」の関心は高まっている一方で、その関心は、産業競争力会議や閣議決定など、政策レベルが起点となっていることが多いように見受けられます。

そうした風潮の中、千葉商科大学講師・評論家の常見陽平氏とジャーナリストのおたとしまさ氏は、対談本(「働き方改革」の不都合な真実)の中で、“「働き方改革」とは、政府や役所に自分たちのライフスタイルを決めてもらうような「他律的」なものであたってはならない。”と述べています。

参加者の皆さん自身、「主体的な働き方改革」を実現できるとするならば、どのように働き方を求めるか、という視点から、働き方を提案してください。(複数可)